

E12「エコロモードファッションショー」の使い方

ねらい：着るものを調節することで過剰な暖房に頼らずに快適に過ごす工夫を考え、行動変容へのきっかけとする。

対象：小学校低学年以上 **人数**：1～3名（1枚のパネル当たり）

遊び方：室温 15℃の部屋にいる男の子と女の子のパネルに、体感温度が27℃（目安）になるように着せ替え人形感覚で重ね着をさせていき、エコなコロモ（衣）＋モード（流行）＝エコロモードなファッション（服装）を考える。

	<p>1. パネルを選択 男の子と女の子のパネル（A4サイズ）どちらかを選択する。 重ね着する前のパネルは15℃設定となっている。（肌着の状態） ※ミニイーゼルに立てかけると着せ替えしやすい</p>
	<p>2. 体感27℃（目安）になるようおしゃれに重ね着させる 15℃設定のパネルに重ね着アイテムの描かれたフィルムを重ねていく。体感温度が27℃になるように且つおしゃれになるように考えながら重ねる。 ※体感温度27℃は冷暖房に頼らずに快適に過ごせる温度としての目安。</p>
	<p>○温度の記載がないフィルムについて 温度の記載がないフィルムに関しては、身に着けると何℃上昇するかを実施者に考えてもらう。温度記載のあるフィルムを参考に『これは何℃だと思う？』と声をかけながら進めていく。</p>
	<p>Point：おしゃれに重ね着 土台のパネルの状態にいきなり [ジャンパー] を着せたり、アウター・トップスだけを重ね着させてボトムスを履かせないのはNG</p>
	<p>3. 完成したら温度の合計を計算 土台となるパネル（15℃）と重ね合わせた重ね着アイテムフィルムの温度合計を出す。目安温度となる27℃に近づいたかどうか、おしゃれに着せ替えすることができたかを実施者と一緒に確認。</p>
	<p>小数点の計算が発生することも有るので指導員と一緒に計算するか、電卓を用意しておく。 ※小数点の計算を学習するのは小学校3年生。</p>
	<p>4. まとめ 着るものを調節することで温度調整することができることを知ってもらう。 “寒い” “暑い”と感じてすぐに冷暖房のスイッチを入れるのではなく、着るものを工夫することで温度調整ができ、冷暖房の使用を抑えることができるのでCO₂の排出削減にもつながることを説明。</p>

<WEB ゲーム版 エコロモードファッションショー>

本プログラムをオンライン上で体験できるWEB ゲーム版エコロモードファッションショーも作成いたしました。皆さんが考えたおしゃれで快適に過ごせるファッションをシェアできる機能も追加しています。集合型のイベント以外でも実施可能ですので是非実施してみてください。

URL：<https://www.jccca.org/>



《重ね着アイテムの種類について》

- ・アウター6枚（男の子：3枚 女の子：3枚）
- ・トップス9枚（男の子：6枚 女の子：3枚）
- ・ボトムス6枚（男の子：2枚 女の子：4枚）
- ・靴／靴下12枚（男の子：6枚 女の子：6枚）
- ・大人アイテム3枚（男の子：2枚 女の子：1枚）
- ・共通アイテム15枚



※重ね着例

【参考文献】

○環境温度と着衣量の関係を考える（大阪教育大学 奥窪朝子 山口大学部医学部 酒井恒美）
https://www.jstage.jst.go.jp/article/senshoshi1960/22/6/22_6_210/pdf/-char/ja

○男女洋服の熱抵抗の測定（花田嘉代子 三平和雄 長谷川陽子）
<https://core.ac.uk/download/pdf/35274788.pdf>

○Oclo値 - 衣服換算のめやす
<http://freehand-japan.com/value/>